

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 2. テーマ番組「スペースコロニー」9月22日から投影がスタート

9月22日(木)から秋のテーマ番組「スペースコロニー」が始まりました。

定員25名、要予約で実施中

## 2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 10月の注目天体情報

#### ☆見ごろの星座：ペガサス座

＝ペガサスの四辺形・秋の四辺形＝

これからは秋の星座のシーズンです。ただ、秋の星座の星には明るい星がありません。そんな秋の星座を探す目印となるのが「秋の四辺形」です。空を飛べる天馬ペガサスのちょうど胴体にあたる星たちで「ペガサスの四辺形」とも呼ばれます。

#### ☆木星と土星

9月頃から東の空に、マイナス2等級の明るくてとても目立つ星が見えてきました。太陽系最大の惑星「木星」です。10月は南東の空でさらに見つけやすくなっています。いっぽう「土星」はというと木星よりも西側で10月は南の空に見えています。「木星」も「土星」も太陽の周りをまわっている惑星で星座の星ではありません。毎年惑星のいる星座は移りかわり、「木星」は「うお座」、「土星」は昨年と同じ「やぎ座」にいます。明るい星の少ない秋の星座の中で木星と土星は目立ちます。

この2つの惑星は今が望遠鏡で観察する絶好機です。木星の縞模様や木星をまわる4大衛星、土星の輪は、望遠鏡を使って観察してみてください。



#### ☆電視観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観望会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。